

【オリコンサルと白浜町、南紀白浜エアポート連携 白浜花火フェスの渋滞対策が奏功】

白浜花火フェスの  
渋滞対策が奏功

オリコンサルと白浜町、

南紀白浜エアポート連携

オリエンタルコンサルタンツは、和歌山県白浜町で7月30日に開催された「白浜花火フェスティバル」での渋滞対策の実施結果を明らかにした。同町に向かう来街時での渋滞はほとんど見られず、町内に入ってから観光交通では南紀白浜空港の旧滑走路に設置した臨時駐車場の利用台数が約640台に上り、熟練された交通誘導員を配置したこともある。駐車場入庫時の渋滞発生や場内での大きな混乱も見られなかった。イベント終了後の帰宅交通では一部

滞ゼロに向けた大作戦」に取り組んでいる。

臨時駐車場で実施したアンケートの結果では、来街時の高速道路利用者の約7割が南紀白浜インターチェンジを利用し、4割弱が観光協会のホームページ（HP）、約3割は案内看板で旧滑走路の臨時駐車場について情報を得たと回答しており、今回講じた対策が一定の効果を上げたことを示している。

区間に混雑が見られたが、おむね1時間程度で解消している。

同社は、同町、南紀白浜空港を運営する南紀白浜エアポートと今夏の交通渋滞対策実施について7月1日に覚書を締結。3者が連携・協働しながら海水浴や花火シーズンで同町とその周辺地域の「渋

一方、HPによる交通情報提供（ライブカメラ）へのアクセス集中による一部時間帯でのHP閉鎖や臨時駐車場で電光掲示板による情報提供の分かりにくさ、スカイロード上の帰宅交通と臨時駐車場からの出庫車両との錯綜（さくそう）などが課題として指摘されている。

10日に開催される白浜花火大会は、3連休の初日でお盆の帰省客も含めて今回を上回る人出が見込まれるだけに、3者では課題に対する改善策を検討した上で交通渋滞対策に万全を期す構えだ。